



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956

URL <https://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大山 啓一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 岡本 伸一 (TEL) 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 65,317 | 12.3 | 4,939 | 71.1 | 5,208 | 61.1 | 3,396 | △51.7 |
| 2023年3月期第2四半期 | 58,148 | 7.8 | 2,886 | △15.8 | 3,232 | △11.9 | 7,030 | 195.2 |

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 4,902百万円（△34.5%）2023年3月期第2四半期 7,481百万円（159.7%）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 98.88 | — |
| 2023年3月期第2四半期 | 197.17 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 136,234 | 80,589 | 55.7 |
| 2023年3月期 | 132,874 | 81,482 | 57.9 |

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 75,832百万円 2023年3月期 76,975百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 27.00 | — | 22.00 | 49.00 |
| 2024年3月期 | — | 27.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 27.00 | 54.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 ボンド発売70周年記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 129,000 | 4.6 | 9,300 | 25.3 | 9,700 | 22.4 | 6,200 | △38.2 | 175.10 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

親会社株主に帰属する当期純利益が前年同期と比べて大きく変動している要因は、2023年3月期の第2四半期決算において、固定資産の譲渡による固定資産売却益が発生したためです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー 、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期2Q | 40,707,440株 | 2023年3月期 | 40,707,440株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期2Q | 7,497,589株 | 2023年3月期 | 5,298,801株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期2Q | 34,350,962株 | 2023年3月期2Q | 35,656,632株 |

(注)2023年9月26日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月13日に自己株式5,500,000株を消却しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年11月28日(火)に証券アナリスト、機関投資家向け四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算補足説明資料は、説明会終了後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 9 |
| (セグメント情報) | P. 9 |
| (重要な後発事象) | P. 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが移行したことで、社会経済活動の正常化がより進み、景気は緩やかな回復に向かいました。一方、ウクライナ情勢による資源・エネルギーおよび原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めや円安進行といった経済活動に影響を与える状況は長期化しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、新たに策定しました「中期経営計画2026(2024年3月期～2026年3月期)」に基づき、新規開拓の強化や成長分野への注力の推進、生産・物流・DX関連への過去最大規模となる設備投資、新たな資本政策を実行することにより、さらなる事業拡大と経営の効率化を図るべく、当中期経営計画を開始しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高653億17百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業利益49億39百万円(前年同四半期比71.1%増)、経常利益52億8百万円(前年同四半期比61.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2023年3月期の第2四半期決算において、固定資産の譲渡による固定資産売却益を計上したことから33億96百万円(前年同四半期比51.7%減)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① ボンド

一般家庭用分野においては、コンビニエンスストアやホームセンター向けは堅調に推移しました。住関連分野においては、建築コストの上昇傾向が継続し新設住宅着工戸数の持ち直しの動きは鈍く、内装工事中用接着剤の販売数量は減少しました。産業資材分野においては、紙関連用途向けの水性接着剤の販売数量は減少したものの、自動車等に使用される弾性接着剤の販売数量は増加しました。建築分野および土木分野においては、改修工事案件の増加に伴い、建築・土木用シーリング材やはく落防止工法に使用される材料の販売数量は増加しました。

接着剤やシーリング材に使用される原材料価格の高騰は依然として継続しているものの、経費削減や原価改善の取り組み、製品販売価格への転嫁が進捗し、売上高、営業利益は伸長しました。

以上の結果、売上高は353億84百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益は32億37百万円(前年同四半期比82.0%増)となりました。

② 化成品

化学工業分野においては、樹脂原料が減少したものの、放熱材料の販売が伸長しました。自動車分野においては、ハイブリッド車向け商材が好調に推移しました。一方、電子電機向け商材は、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等の個人消費者向け商品の需要低下の影響を受け、利益が減少しました。また、丸安産業(株)においても、コンデンサ用商材や半導体製造装置に使用される商材が減少しました。

以上の結果、売上高は196億43百万円(前年同四半期比15.8%増)、営業利益は6億29百万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

③ 工事業

工事業においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が引き続き好調に推移し、工事の進捗も良好であったため、関係工事会社5社とともに売上高・営業利益は大きく伸長しました。

以上の結果、売上高は101億99百万円(前年同四半期比29.2%増)、営業利益は10億2百万円(前年同四半期比120.9%増)となりました。

④ その他

その他は不動産賃貸業等となります。売上高は88百万円(前年同四半期比3.7%減)、営業利益は58百万円(前年同四半期は30百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ33億59百万円増加し、1,362億34百万円となりました。

① 資産

流動資産は、現金及び預金が9億40百万円減少したものの、電子記録債権が11億13百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が6億89百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億33百万円増の948億67百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が15億76百万円、投資有価証券が16億1百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ29億25百万円増の413億66百万円となりました。

② 負債

流動負債は、未払法人税等が17億73百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が42億78百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ37億8百万円増の495億64百万円となりました。固定負債は、そのほか5億26百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億44百万円増の60億80百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が26億17百万円、その他有価証券評価差額金が9億72百万円増加したものの、マイナス項目である自己株式が49億56百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億93百万円減の805億89百万円となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の減少額は10億50百万円となりました(前年同四半期は81億26百万円の増加)。これは、営業活動によるキャッシュ・フローの増加額が62億25百万円(前年同四半期比29億53百万円増)、投資活動によるキャッシュ・フローの減少額が15億3百万円(前年同四半期は57億45百万円の増加)、財務活動によるキャッシュ・フローの減少額が58億37百万円(前年同四半期比48億18百万円増)となったことによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資金の残高は、302億18百万円となりました。

(a) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、62億25百万円(前年同四半期比29億53百万円増)となりました。これは、法人税等の支払額が32億58百万円、売上債権及び契約資産の増加額が16億91百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が52億6百万円、仕入債務の増加額が41億53百万円、減価償却費が8億64百万円あったこと等によるものです。

(b) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、15億3百万円(前年同四半期に得られた資金は57億45百万円)となりました。これは、定期預金の払戻による収入が10億45百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が17億10百万円、定期預金の預入による支出が5億89百万円あったこと等によるものです。

(c) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、58億37百万円(前年同四半期比48億18百万円増)となりました。これは、自己株式の取得による支出が50億45百万円、配当金の支払額が7億80百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2023年4月28日発表時の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 32,195 | 31,254 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 34,752 | 35,441 |
| 電子記録債権 | 14,667 | 15,781 |
| 商品及び製品 | 9,355 | 9,290 |
| 仕掛品 | 314 | 283 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,640 | 1,512 |
| その他 | 1,565 | 1,454 |
| 貸倒引当金 | △57 | △151 |
| 流動資産合計 | 94,434 | 94,867 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 25,746 | 27,322 |
| 無形固定資産 | 1,188 | 1,563 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,084 | 9,685 |
| その他 | 3,440 | 2,812 |
| 貸倒引当金 | △17 | △17 |
| 投資その他の資産合計 | 11,506 | 12,480 |
| 固定資産合計 | 38,440 | 41,366 |
| 資産合計 | 132,874 | 136,234 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 33,983 | 38,262 |
| 電子記録債務 | 3,728 | 3,701 |
| 短期借入金 | 48 | 176 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 60 | 47 |
| 未払法人税等 | 3,298 | 1,525 |
| 賞与引当金 | 1,152 | 1,227 |
| 役員賞与引当金 | 131 | 53 |
| その他 | 3,450 | 4,570 |
| 流動負債合計 | 45,856 | 49,564 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 116 | 96 |
| 退職給付に係る負債 | 645 | 683 |
| その他 | 4,774 | 5,301 |
| 固定負債合計 | 5,536 | 6,080 |
| 負債合計 | 51,392 | 55,645 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,603 | 4,603 |
| 資本剰余金 | 4,557 | 4,585 |
| 利益剰余金 | 69,450 | 72,067 |
| 自己株式 | △5,904 | △10,860 |
| 株主資本合計 | 72,707 | 70,395 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,611 | 3,584 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 450 | 713 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,206 | 1,139 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,268 | 5,436 |
| 非支配株主持分 | 4,507 | 4,756 |
| 純資産合計 | 81,482 | 80,589 |
| 負債純資産合計 | 132,874 | 136,234 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 58,148 | 65,317 |
| 売上原価 | 47,204 | 52,350 |
| 売上総利益 | 10,943 | 12,966 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,057 | 8,026 |
| 営業利益 | 2,886 | 4,939 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 8 |
| 受取配当金 | 135 | 132 |
| 為替差益 | 131 | 106 |
| 持分法による投資利益 | 12 | 19 |
| その他 | 94 | 84 |
| 営業外収益合計 | 382 | 350 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4 | 4 |
| 支払手数料 | — | 45 |
| 減価償却費 | 12 | 25 |
| その他 | 20 | 6 |
| 営業外費用合計 | 37 | 82 |
| 経常利益 | 3,232 | 5,208 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 0 | 108 |
| 固定資産売却益 | 7,184 | 2 |
| 特別利益合計 | 7,184 | 110 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 5 | 25 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 84 |
| その他 | 0 | 1 |
| 特別損失合計 | 5 | 112 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,411 | 5,206 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,105 | 1,573 |
| 法人税等調整額 | 125 | 47 |
| 法人税等合計 | 3,230 | 1,620 |
| 四半期純利益 | 7,180 | 3,586 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 149 | 189 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 7,030 | 3,396 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 7,180 | 3,586 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △137 | 1,066 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 444 | 280 |
| 退職給付に係る調整額 | △37 | △67 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 31 | 36 |
| その他の包括利益合計 | 300 | 1,316 |
| 四半期包括利益 | 7,481 | 4,902 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 7,310 | 4,564 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 170 | 337 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,411 | 5,206 |
| 減価償却費 | 1,030 | 864 |
| のれん償却額 | 64 | 63 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | 0 | △108 |
| 有形固定資産処分損益 (△は益) | 2 | 4 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △7,184 | 13 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 1 | 91 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 60 | 73 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △60 | △77 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △23 | △52 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 47 | 8 |
| 受取利息及び受取配当金 | △144 | △141 |
| 支払利息 | 4 | 4 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △12 | △19 |
| 売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加) | △266 | △1,691 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,214 | 240 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,250 | 4,153 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 70 | 345 |
| その他の固定負債の増減額 (△は減少) | 8 | 59 |
| その他 | 404 | 307 |
| 小計 | 4,450 | 9,346 |
| 利息及び配当金の受取額 | 144 | 141 |
| 利息の支払額 | △4 | △4 |
| 法人税等の支払額 | △1,318 | △3,258 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,272 | 6,225 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △510 | △589 |
| 定期預金の払戻による収入 | 510 | 1,045 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △656 | △1,710 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 6,470 | 88 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △37 | △435 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △38 | △59 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 0 | 153 |
| その他 | 6 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 5,745 | △1,503 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △6 | 120 |
| 長期借入金の返済による支出 | △145 | △33 |
| リース債務の返済による支出 | △11 | △10 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △5,045 |
| 配当金の支払額 | △784 | △780 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △72 | △87 |
| その他 | 0 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,019 | △5,837 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 128 | 65 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 8,126 | △1,050 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 25,514 | 31,268 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 33,641 | 30,218 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,231,100株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において単元未満株式の買取による取得も含め、自己株式が5,000百万円増加しました。

この影響等により、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式が10,860百万円となっております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|--------------------------|---------|--------|-------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | ボンド | 化成品 | 工事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への売上高 | 33,196 | 16,962 | 7,897 | 58,055 | 92 | 58,148 | — | 58,148 |
| (2)セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 173 | 183 | — | 356 | 41 | 397 | △397 | — |
| 計 | 33,369 | 17,145 | 7,897 | 58,412 | 133 | 58,545 | △397 | 58,148 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,778 | 679 | 453 | 2,912 | △30 | 2,882 | 3 | 2,886 |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|--------------------------|---------|--------|--------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | ボンド | 化成品 | 工事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への売上高 | 35,384 | 19,643 | 10,199 | 65,228 | 88 | 65,317 | — | 65,317 |
| (2)セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 149 | 141 | 3 | 295 | 37 | 333 | △333 | — |
| 計 | 35,534 | 19,785 | 10,203 | 65,523 | 126 | 65,650 | △333 | 65,317 |
| セグメント利益 | 3,237 | 629 | 1,002 | 4,869 | 58 | 4,928 | 11 | 4,939 |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2023年9月26日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について決議し、自己株式の消却を実施しました。

1. 消却した株式の種類
当社普通株式
2. 消却した株式の総数
5,500,000株(消却前の発行済株式総数に対する割合 13.51%)
3. 消却実施日
2023年10月13日